授業リフレクションシステムを用いた 「間違い探し」動画教材による ICT 活用指導力の育成

Development of Teaching Skills Using ICT with a System for Enhancing Student Reflection Using “Spot the Different Videos”

小川 美奈恵^{*1}, 森本 康彦^{*1}, 北澤 武^{*1}, 宮寺 庸造^{*1}
Minae OGAWA^{*1}, Yasuhiko MORIMOTO^{*1}, Takeshi KITAZAWA^{*1}, Youzou MIYADERA^{*1}
^{*1}東京学芸大学
^{*1}Tokyo Gakugei University

あらまし：教育の情報化により，教員や教員養成課程の学生の ICT 活用指導力の向上・育成が求められている。その中で，教員養成課程の学生に対して「間違い探し」動画教材を用いた問題解決型の学習方法が提案，実践され，その効果が明らかにされている⁽³⁾。一方，教員の“質の向上”“質の保証”のために授業動画をj用いて力量形成を支援する授業リフレクションシステムが開発され，実践を通してその有効性が示されている⁽⁸⁾。本論文では，これらを組み合わせることで，ICT活用指導力のさらなる向上・育成を目指す，授業リフレクションシステムを用いた「間違い探し」動画教材による実践を行った。

キーワード：間違い探し動画，ICT活用指導力，教員養成，授業リフレクションシステム，授業研究

1. はじめに

近年，教育の情報化が進展し，教員の ICT 活用指導力の向上，教員養成課程における ICT 活用指導力育成のためのカリキュラムの構築や授業法，学習方法が求められている⁽¹⁾⁽²⁾。そこで，Ogawa et al.(2015)では，多様な ICT の活用場面や活用方法に対応することができる「間違い探し」動画教材を用いた学習方法を提案し，その効果を明らかにしている⁽³⁾。

一方，「教職課程の質保証」の重要性が指摘されており⁽⁴⁾，教員養成に関わる高等教育機関には，教員としてより高い実践的指導力を身につけさせる“質の保証”と，教員として必要な資質・能力を持たせる“質の保証”が求められている。そこで，北澤・森本(2014)において，学習者が授業動画を閲覧しながら自己評価や相互評価等のアセスメント活動を繰り返すことで，自らの授業力や学習支援などの力量を形成することができる授業リフレクションシステムが開発されている⁽⁷⁾。

本研究では，教員，及び教員養成課程の学生の実践的な指導力としての ICT 活用指導の向上・育成を目的とし，「間違い探し」動画教材を用いた問題解決型の学習方法の実践に授業リフレクションシステムを使用した。本稿では，その実践とその評価の概要について説明する。

2. 「間違い探し」動画教材を用いた問題解決型学習方法

「間違い探し」動画教材とは，看護・医療分野で使用されている学習者が主体的に取り組み，技術習得に効果があるとされている e-Learning 教材に着目し，ICT 活用指導力育成のために提案された教材である⁽⁵⁾⁽⁶⁾。

この「間違い探し」動画教材を用いて，学習者が ICT 活用指導力の育成に必要な多様な ICT の活用場

面を経験し，場面に応じた問題を認識し，解決していくプロセスの中で ICT 活用について学習者が自身で考えられるよう，問題解決学習にあてはめた“動画作成による学習方法”と“動画閲覧による学習方法”が開発，実践がされ，その効果が明らかにされている⁽³⁾。

3. 授業リフレクションシステム

授業リフレクションシステムとは，学習者が授業動画を閲覧しながら，アセスメント活動を繰り返すことで，自らの授業力や学習支援などの力量形成を支援するシステムである⁽⁷⁾。授業リフレクションシステムでは，授業動画を閲覧しながらその時点での気づきなどをアセスメント活動として投稿することができる。また，投稿された自由記述のコメントは，動画再生時間と紐付けられ最上部に表示され，コメントが投稿された時間と文字数は動画の再生箇所と対応され，ひと目で確認することが可能である。

この授業リフレクションシステムを用いた実践としては，北澤・森本(2014)の情報科教育法の授業を対象とし，自己や他者の模擬授業に対する相互評価を行うものがあり，対面による模擬授業の相互評価のときには気づけなかった新たな気づきが促進されることが示唆されている⁽⁸⁾。

4. 「間違い探し」動画教材を用いた授業リフレクションシステムの実践

4.1 実践概要

本研究では，「間違い探し」動画教材による問題解決型の学習方法の“動画閲覧による学習方法”の STEP1:「間違い探し」動画教材を閲覧する，STEP2:「問題点(間違い)を見つける」の部分に授業リフレクションシステムを使用した。